

平成 2 2 年

高 松 市 教 育 委 員 会 4 月 定 例 会

会 議 録 (抄 本)

4 月 2 1 日 (水) 開 会

4 月 2 1 日 (水) 閉 会

出席委員			
委員長	神内 仁		
委員	岡 義 博		
	児 玉 令 江 子		
	木 場 巳 男		
教育長	松 井 等		
欠席委員			
説明のため会議に出席した者等			
教育部長	富 田 繁		
教育部参事 中央図書館長事務取扱	馬 場 朋 美		
教育部次長 総務課長事務取扱	川 田 喜 義		
教育部次長 生涯学習課長事務取扱	村 上 和 広		
学校教育課長	福 田 安 伸		
保健体育課長	梶 野 雅 義		
生涯学習センター副館長	山 端 均		
高松第一高等学校事務長	春 日 あ け み		
総務課長補佐	諏 訪 真 史		
総務課総務係長	高 橋 辰 雄		
会議録署名委員	木 場 巳 男		
事務局担当書記	鍵 山 哲 典		

【特記事項】 傍聴人なし

議 事 日 程（4月定例会）

日程第1 3月定例会会議録承認について

日程第2 議案第30号 牟礼地区小学校区の一部修正について

日程第3 議案第31号 高松市生涯学習センター等運営協議会委員の委嘱について

日程第4 報告事項

- 1 平成23年度使用小学校教科用図書採択事務日程等について
- 2 平成22年度幼稚園，小・中学校の園・学校訪問について
- 3 高松市朝日新町学校給食センターにおける食物アレルギー対応について
- 4 直島町への移動図書館車巡回事業の実施について
- 5 平成22年度スーパーサイエンスハイスクール（SSH）新規指定校について
- 6 公立高等学校の授業料無償化の取扱いについて

【平成22年4月21日（水） 議 事 内 容】

午前9時30分 開会

委員長が、会議録の署名委員に木場委員を指名。

日程第1 3月定例会会議録承認について

委員長が、3月定例会会議録承認について各委員に諮り、原案のとおり可決。

日程第2 議案第30号「牟礼地区小学校区の一部修正について」

学校教育課長から、合併に伴い新たに作成した牟礼地区小学校区の校区地番表を、自治会単位の校区地番に修正することについて説明。

<質疑>

- 委 員 市町合併後、しばらく経過していますが、もう少し早く分からなかったのでしょうか。
- 学校教育課長 校区地番の一部の設定の誤りであったため、判明までに時間を要しました。
- 委 員 該当地域の関係者への説明は行っていますか。
- 学校教育課長 牟礼支所を通じて地元の保護者へ説明し、理解と同意を得ております。
- 委員長 経過措置についても、ほぼ10年間という長期間を設定しているため、影響はあまりないと思われます。

委員長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

日程第3 議案第31号

議案第31号 「高松市生涯学習センター等運営協議会委員の委嘱について」

生涯学習センター副館長から、高松市生涯学習センター等運営協議会委員の委嘱について説明。

<質疑>

- 委員 再任の方が多いようですが、任期が最長の委員の方は何年目ですか。
- 生涯学習センター副館長 学識経験者の星川委員が、生涯学習センター開館時から4期8年間務められており、今回の再任により5期目になります。
- 委員 任期に限度はありますか。
- 生涯学習センター副館長 高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱の規定により、在任期間は10年以下とされています。
- 委員 再任の委員が多いということは、現在の運営方針等が継続される傾向になると思いますが、新任委員の人選等の検討はされましたか。
- 生涯学習センター副館長 各関係団体に推薦依頼し、任意に選出いただいた結果によるものです。
- 委員 任期の継続が慣例になっているのであれば、在任期間の上限を任意に短くするなどして、委員の入れ替えを図ったほうがよいのではないかと思います。
- 委員長 今後の委嘱について、検討していただければと思います。

委員長が、各委員に諮り、原案のとおり可決。

日程第4 報告事項

報告事項1 「平成23年度使用小学校教科用図書採択事務日程等について」

学校教育課長から、平成23年度使用小学校教科用図書の採択の事務日程等について説明。

<質疑>

- 委員 何年ごとに教科書選定をしていますか。
- 学校教育課長 4年ごとです。

- 委 員 調査員はどのように選んでいますか。
- 学校教育課長 さぬき・東かがわ・小豆採択地区および高松・木田・香川採択地区から、各種目に関して見識の深い学校教員を6人ずつ選出しています。
- 委 員 1種目につき、高松市からは何人ほど選ばれますか。また、その選出はどのようになされますか。
- 学校教育課長 1種目6人のうち3、4人程度の教員を、高松市教育委員会事務局で選出しております。選出については、指導主事が各小学校の研究会等に出向いた際になどに、見識が深いと思われる教員に見当をつけたりしています。
- 委 員 2つの採択地区が共同研究する趣旨を説明してください。
- 学校教育課長 さぬき・東かがわ・小豆採択地区単独では、採択事務日程にかかる教員への負担が多大であることや、調査研究の範囲にも限りがあると思われます。高松市は生徒数、教員数ともに突出していますので、お互いにより良い採択を行うためにも共同で調査研究をしております。
- 教 育 長 調査員の選定は非公開ですね。
- 学校教育課長 はい、学校長に調査員予定者を内示し、了解後に選任しております。なお、その際には、その教員についての、特定教科書の執筆への関与の状況等も確認しております。今回の採択事務に関しても、4月から8月までの期間で全ての事務日程を終える予定にしております。
- 教 育 長 勤務時間外での事務作業であるため、調査員の方々は大変だと思いますが、それをこなせる力量のある教員にお願いすることになると思います。

報告事項2 「平成22年度幼稚園、小・中学校の園・学校訪問について」

学校教育課長から、平成22年度幼稚園、小・中学校の園・学校訪問について説明。

<質疑>

- 委 員 訪問日程についてですが、学校訪問の際には、年度当初の教育方針等について学校側と話し合ったりしますが、9月や10月頃の訪問予定では年度当初から

半年ほど経過することになりますね。

- 学校教育課長 市町合併による学校数増により、以前は7月頃までには終了していた訪問日程期間が、近年は10月頃まで延長されております。また、9、10月頃に訪問する対象の学校の多くは、学校長が新任された学校を設定しており、新任の学校長がその学校運営や方針等を把握し、事務局との話し合いに対応できる頃合を見計らう意味もあります。
- 教 育 長 以前は1日に4校程度を訪問するなど、日程が過密でしたが、現在は2校程度ですので、余裕を持って内容の濃い訪問や指導が可能であると思います。
- 委 員 新年度からの新任の学校長や教員に対して、事務局では指導や助言などを行っていますか。
- 学校教育課長 事務局としては、初任者や転任者に対し研修会や訪問を行っています。また、学校長との目標面談を行う中で、配置された学校についての所感などの聞き取り等による状況把握を行っています。
- 委 員 精神的な疾患を有する教員も増えてきているようですので、そのような対応を推進していただきたいと思います。また、昨年からは市長による学校訪問も始まり、好評であったと聞いていますので、今年度もできるだけ多くの学校を訪問していただきたいと思います。
- 学校教育課長 昨年度は小・中学校6校を訪問していただきましたが、今年度はさらに幼稚園へもお願いしたいと考えております。

報告事項3 「高松市朝日新町学校給食センターにおける食物アレルギー対応について」

保健体育課長から、平成22年4月からの高松市朝日新町学校給食センターの食物アレルギー対応除去食の提供について説明。

<質疑>

- 委 員 長 市内の学校給食調理場全てにおいてではなく、朝日新町の給食センターの

みでの対応ですか。

- 保健体育課長 はい、給食センターではアレルギー対応除去食用に職員1名を配置し、その体制を整えております。
- 委員長 アレルギー対応除去食を提供する対象児童は、どのくらいでしょうか。
- 保健体育課長 昨年度実績は30名程度でしたが、今年度は対象校の拡大に伴い、現在60名程度の児童を面談しています。
- 委員 給食センターに提出する学校生活管理指導表は誰が作成しますか。
- 保健体育課長 対象児童の主治医が作成します。
- 委員 アレルギー症状の聞き取りをする有識者はどのような方ですか。
- 保健体育課長 栄養職員や養護教諭等です。
- 委員 最近は食物アレルギーの児童が増えつつありますが、過敏になりすぎる傾向もあるかと思えます。予算的な問題もあると思えますし、その対応については全てを市が負うのではなく、保護者の協力による弁当持参も必要になるのではないのでしょうか。
- 保健体育課長 給食献立の数品目のうち、特定の品目を除外すると普通の給食でも食べられる児童もおり、そういう状況を把握するためにも面談を行っております。また、弁当を持参することも可能です。
- 委員 小学校低学年の場合、弁当持参がいじめにつながる可能性もあるかと思えますが、子ども達にとって、学校生活での給食が占める比重は大きいので、学校現場ではできる限りの対応をしていただきたいと思います。
- 委員長 アレルギーが軽度の場合は成長に伴い改善する場合がありますが、学校現場では児童の状況に応じた適切な対応が求められると思えます。

報告事項4 「直島町への移動図書館車巡回事業の実施について」

教育部参事から、瀬戸・高松広域定住自立圏の形成に関する協定に基づき、高松市の移動図書館車が、図書館サービス提供のため、直島町内を巡回することについて説明。

<質疑>

- 委員 巡回の際のバスには何冊程度の図書を積んでいますか。また、その種類はどのようなものですか。
- 教育部参事 バス1台に3,000冊程度で、種類については一般書、児童書、大活字本、点訳本など、あらゆる分野を一通りそろえています。利用者からの貸出本の希望についても受け付ける予定です。また、バスについては、高松市内を巡回するバスと同様のバスで巡回します。

報告事項5 「平成22年度スーパーサイエンスハイスクール（SSH）新規指定校について」

高松第一高等学校事務長から、文部科学省による平成22年度新規指定校として高松第一高等学校が36校のうちの1校として決定したことについて説明。

<質疑>

- 委員 支援費の6,600万円は1校あたりの額ですか。
- 高松第一高等学校事務長 科学技術振興機構からの支援により、平成22年度より1年目が1,800万円、2,3年目が1,400万円、4,5年目が1,000万円で、5年間の総額が1校あたり6,600万円とされています。
- 委員 研究開発課題というのは普通授業の中で取り組むのですか。
- 高松第一高等学校事務長 はい、それ以外にも夏休み等を利用して、種々の施設や関連機関に学習に向いたりもします。ただ、具体的な取り組みについては、応募の際に提出した実施計画等に基づき、科学技術振興機構にも確認をしながら今後検討していきます。
- 委員 では、具体的な取り組み内容や成果については、また報告してください。
- 委員 このSSHは、世間で言われる理系離れを抑制するという意味合いも大きいと思います。取り組み内容としては、筑波市にある種々の研究機関への合宿参加なども考えられます。
- 委員長 理系離れの要因として、社会での雇用先が少なくなっている現状もあり、

そのような社会的基盤の整備も必要ではないかと思えます。

委員長が、報告事項6について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項の規定により、会議は公開しないことを各委員に諮り、非公開とすることに決する。

報告事項6 「公立高等学校の授業料無償化の取扱いについて」

<非公開審議，内容不記載>

午前10時38分 閉会

議決事項

「牟礼地区小学校区の一部修正について」

「高松市生涯学習センター等運営協議会委員の委嘱について」